

## 「巴会関西支部だより」平成 27 年度活動報告

巴会関西支部長 M45 掛田健二

### (1) 平成 27 年度「巴会関西支部総会」 参加者 30 名

7 月 4 日(土)15:30 から 3 年連続の「料亭 天王殿」で開催した。講演会は、名工大大学院おもひ領域の松本健郎教授から「バイオメカニクス = 生命現象の解明から動脈硬化診断への応用まで」と題し、臨床応用に向けた取組みの現状と課題など、医学と機械工学の連携と融合の最前線が話された。血管の解析に水力学が利用でき、病理治療に機械工学が豊富に利用されており、高齢化が進行する中で「ここまでできるのか」と感激するとともに、機械工学領域の拡大を再認識した。参加者から沢山の質問の声が上がった。

総会では、H27 年度活動報告、H28 年度活動計画が承認された。懇親会は、M33 堀田先輩のご発声による乾杯でスタート。美味しい会席料理を堪能しながらビールやお酒もたっぷり。参加者全員から順に近況報告を披露した。M28 三宅先輩の中締めで、楽しいひと時を送った。MH26 卒業生 2 名参加したが、若手中堅の参加が少なく、対策が必要。

### (2) 第 4 回海外同窓会：中国東北部ハルピン市・大連市 参加者 6 名。

9 月 13 日～17 日に中国東北部ハルピン市・大連市を、参加者 6 名（関西 4、名古屋 1、家族 1）で訪問した。関空から大連白雲空港に飛び、高速鉄道（高鉄：新幹線）は大連—ハルピン最速特急で 3 時間・900 km の旅。帰りは各停特急で 5 時間。高鉄は日本とほとんど同じ軌道・給電装置で、直線部分が大半、トンネルや長い橋梁は無い。線路の両側は小麦・米・トウモロコシ畑が延々と続く広大な平原。大連—瀋陽間の丘陵には 1500kW 級の風力発電が林立。

ハルピン市はロシア人が造った都市で、ロシア式建造物や地下道が多い。現在はロシア人少。氷雪祭りで有名な太陽島の散歩、旧京劇劇場でのロシアショウ、ハルピン大和ホテルなどを見学。ハルピン工科大学・医科大学・旧市庁舎は日本の建造物を利用など、中国の他都市とは雰囲気異なっていた。大連市では建替えが進む旧日本人住宅街、大連港一望だが観光客の少ない 203 高地、修復中の大連大和ホテルでは修復費用捻出のために日本人接収の美術品特売、など。中国大都市で進む不動産バブルのビル・マンション群建設が、大連市でも進行中。

### (3) 平成 27 年度名古屋工業会大阪支部総会と大阪支部活動

9 月 26 日 14:00～19:00 に 大阪弥生会館で、91 名の参加のもと開催された。講演会・見学は梅田スカイビル（原広司氏設計、竹中工務店施工で 1993 年竣工。2008 年世界代表建造物トップ 20 に選定）で開催。A38 吉永 深氏（竹中工務店元常務）から「梅田スカイビルのリフトアップ工法」の講演があり、世界初のツインビルを連結する大規模構造物のリフトアップの構想と現場指揮の苦勞を述べられた。2016 年に竣工した天王寺あべのハルカスビルの現場監督も名工大 OB であり、先輩の活躍に誇りを感じた。

### (4) 巴会関西支部の懇親ゴルフコンペ（9 月秋は中止）

平成 28 年 3 月 26 日(土)に大津カントリークラブ東コースで開催、11 名参加。優勝は M57 数坂氏。

### (5) 平成 28 年「第 9 回新年懇話会」 参加者 30 名

平成 28 年 1 月 23 日（土）11:00--14:00 に、明石海峡大橋のたもとの垂水温泉「太平の湯」で開催、参加者 17 名。有馬温泉と同じ金泉・銀泉効能の湯、露天風呂、各種内湯を楽しんだ後、宴会場に移動。M43 堀内先輩から「国内貨物輸送とトラック」と題し、トラック輸送の担う重要性和現状、今後の課題と経営者としての悩みなどの話を伺った。快晴の明石海峡を眺めながらの食事とアルコールに満足して解散。希望者で歌聖「柿本人麻呂」を祀り、夫婦和合の神として知られる「柿本神社」へ初詣後、明石駅前「魚の棚」商店街で買い物して解散した。